

# 熊野古道・紀伊路

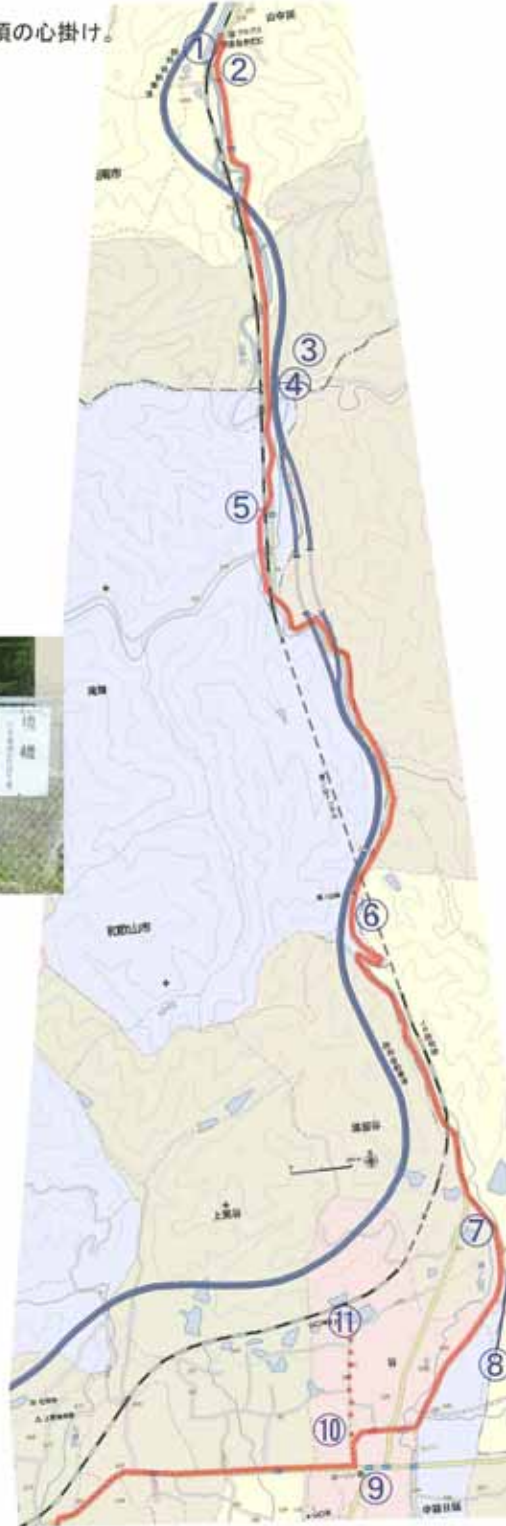
## 2008.10.11 ~ 13

山中溪 ~ 紀伊宮原。和歌山県に入り、紀伊路も佳境へ。

10月11日			
平針	5:31 (始発)		
	地下鉄		
伏見	5:53		
	6:02		
	地下鉄		
名古屋	6:05		
	6:20 (始発)		
	のぞみ57号		
新大阪	7:10		
	7:23		
	東海道本線		
大阪	7:27		
	7:33		
	紀州路快速		
和泉砂川	8:32		
	8:39		
	阪和線		
山中溪	8:45	↓ 1日目	15.5km
布施屋	14:52		
	和歌山線		
和歌山	15:03		
10月12日			
和歌山	8:18		
	和歌山線		
布施屋	8:32	↓ 2日目	16.4km
海南	15:22		
	紀勢本(きのくに)線		
和歌山	15:35		
10月13日			
和歌山	7:51		
	紀勢本(きのくに)線		
海南	8:06	↓ 3日目	13.5km
紀伊宮原	15:32		
	紀勢本(きのくに)線		
和歌山	16:09		
	17:14 海南で乗替を予定変更		
	くろしお92号		
京都	17:03 (16:47予定が延着)		
	17:09		
	のぞみ188号		
名古屋	17:45		



① 8:50 ほぼ一年ぶりの「山中溪」駅 昨夜からの雨もあがって出発。日頃の心掛け。



⑦ 10:20 山口王子跡



② 8:55 山中関所跡



⑧ 10:30 小野寺跡 (小野小町の墓)



③ 9:15 桜地藏



④ 9:20 日本最後の仇討ち場跡



⑨ 10:55 ローソンで昼食を買う



⑩ 11:00 山口神社鳥居



⑤ 9:30 中山王子跡



⑪ 11:10 山口神社(昼食)



⑥ 9:55 雄ノ山峠：峠の不動明王



① 12:15 川辺 (カワヘ) 王子跡



② 12:40 中村王子跡



田の前にやや古びた看板があるだけ。

③ 12:45 力侍神社 (川辺王子跡説もあり、石標も立っている)



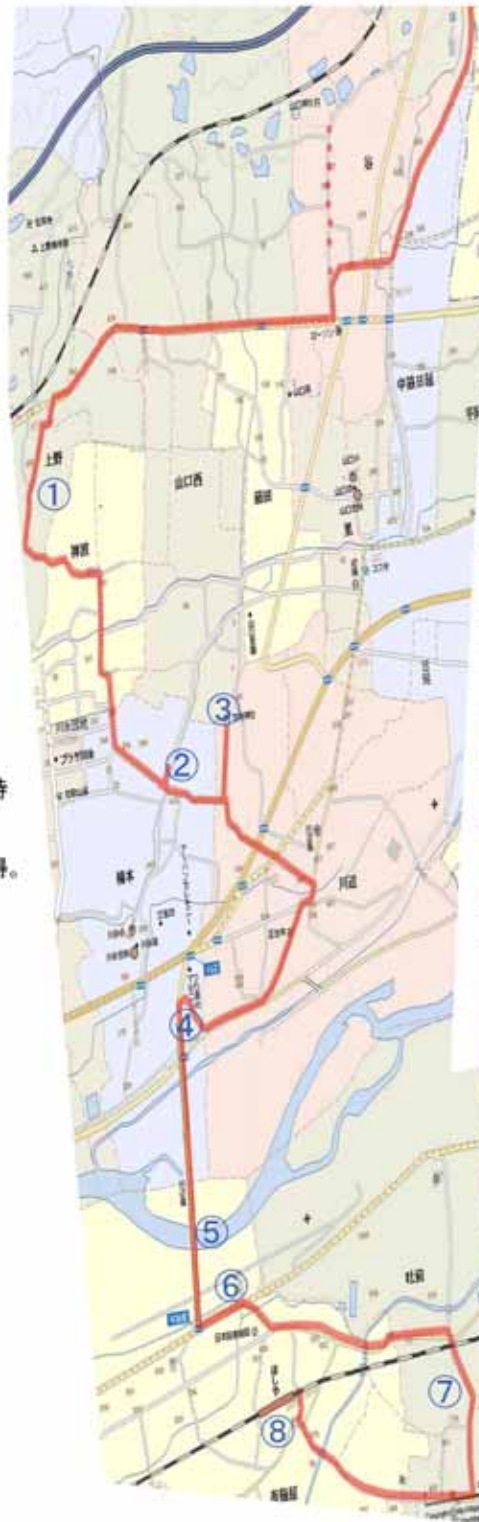
①の場所は西に外れすぎのため、力侍神社説を支持する意見もある。歩いてみると納得。



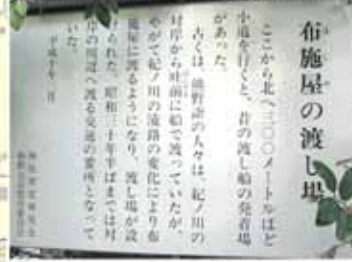
④ 13:35 川辺橋下の地蔵



⑤ 13:45 紀ノ川を越える



⑥ 13:55 布施屋の渡し場跡の標識



⑧ 14:25 JR「布施屋」駅に到着 舗装道路が多いためか、思いの外足が疲れた。



14:52のJRで「和歌山」駅へ



駅東口前の 太田左近像



夜は和食処「三八波」で(翌朝撮影)



⑦ 14:10 吐前 (ハセギ) 王子跡



和歌山駅西口



和歌山7-バンホテル



ホテルの朝食バイキング



和歌山駅東口



8:18 奈良行で布施屋へ



① 8:40 川端王子跡



② 9:15 旧中筋家



③ 9:25 和佐王子跡（整備された公園、背後は松下幸之助生誕地：旧和佐村）



④ 9:35 和佐大八郎（弓の名手）の墓



⑤ 矢田峠付近：みかん畑の中を行く



⑥ 10:30 平緒王子跡



⑦ 11:00 和鉄貴志川線「伊太祁曾」駅



⑧ 11:05 ローソンで昼食を買う



⑨ 11:10 伊太祁曾神社（昼食）



山の方の  
木の周りに  
さかえて  
来たところ  
東大八郎  
の墓

① 12:00 六地藏



六地藏隣の倉庫の屏絵



② 12:10 須賀神社



③ 12:15 奈久智王子跡 (民家裏のみかん畑の中)



④ 12:35 武内神社



武内宿禰誕生の井

⑤ 13:00 紀伊風土記による奈久智王子近くの地藏。竹藪内に祠があったらしいが、県道バイパス予定地のため、無くなったらしい。竹藪は伐採されていた。



⑥ 13:10 四つ石地藏



⑦ 13:30 松坂王子跡



⑧ 13:40 徳本上人名号碑 (蜘蛛池畔)



⑨ 13:50 汐見峠：呼び上げ地藏



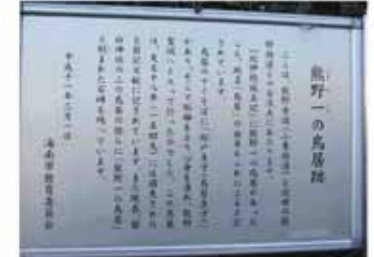
⑩ 14:05 松代王子跡



⑪ 14:20 菩提房王子跡



⑫ 14:35 熊野一の鳥居跡



⑬ 14:45 海南駅



夕食は JOWA 5F の「百楽」で中華



予定より 15 分早い列車で海南へ。  
駅前のファミリーマートで買い物。

① 8:20 ファミマ



② 8:40 絛戸王子跡



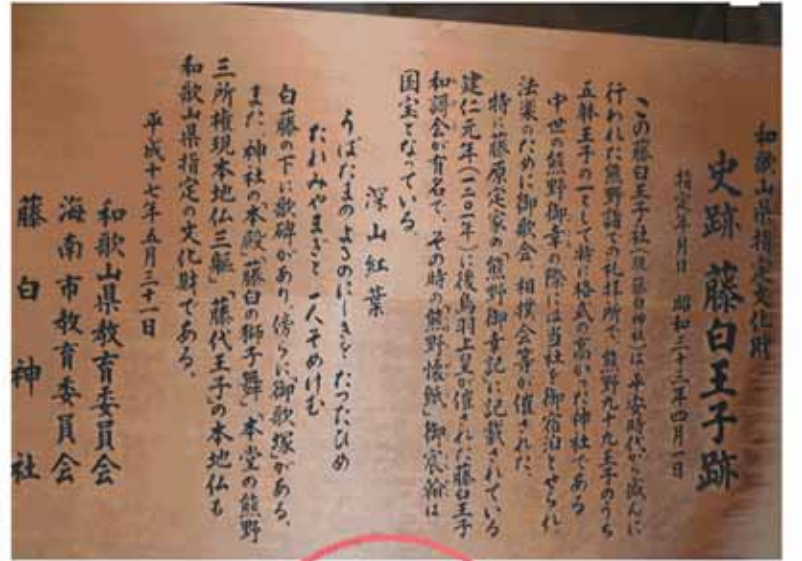
③ 絛戸王子跡への地道



④ 8:55 鈴木屋敷 (全国の鈴木さんのルーツ)



⑤ 9:05 藤白王子社 (藤白神社)



⑥ 9:25 有間皇子の墓



藤白坂 9:25 ~ 10:15 藤白坂を昇る。丁石地藏：十二丁は発見できず



藤白伝承遺蹟  
筆捨松由来記

〔投げ松〕  
第三十四代舒明天皇(西暦六三五年)は、熊野へ行幸の途次藤白峠で王法の隆昌を祈念し小松にしるしをつけ谷底へ投げられた。峰路小松が根づいていたので古記であると思はれた。以来「投げ松」と呼ばれていた。

〔筆捨松〕  
平安前期の位和年間(西暦八八五〜八八八)の頃絵師巨勢金剛は、熊野詣での途次藤白坂で童子と出会い鏡画することとなり金剛は松に鶯を、童子は松に鳥を描いた。次に金剛は童子の絵の鳥を、童子は金剛の絵の鶯を手を打って遠くへ何方とも飛んでいった。こんどは童子が鳥を呼ぶと何処からか飛んできて絵の鳥におさまった。しかし金剛の鶯は遂に帰らなかった。「無念」と筆を投げ捨てた。

筆は「投げ松」の所へ落ちた。以来「筆捨松」と呼ばれてきた。童子は熊野権現の化身であったといわれている。  
〔嶺上史より〕

平成十五年十一月三日

① 10:15 石の宝篋印塔



② 10:20 地藏峰寺



③ 10:25 御所の芝



④ 10:35 塔下王子跡



⑤ 11:10 橋本王子跡 (阿弥陀寺)



⑥ 11:30 所坂王子跡 (橋本神社)



⑦ 11:45 一壺王子跡 (山路王子神社)、昼食



コンクリート舗装も多い  
急傾斜路をアップダ  
ウンする拝ノ峠越え。  
標識が解りにくく  
道に迷う。  
ここでもちょっと迷い道

⑧ 13:20 蕪坂塔下王子跡



⑩ 14:10 爪書地藏



⑨ 13:35 太刀の宮



爪かき地藏  
この堂は、古く遠野山全明寺と称し、境内周囲八〇間方二間の堂の五坪す。四米余の自然石に阿弥陀と地藏とを彫刻する。室町時代の作であろうが弘法大師が彫ったといふ説話が伝えられている。  
肥野古道にあたる蕪坂の中腹にあり、殊人の産病を癒すといわれた。  
永禄六年(一五六二年)岩室城主山本武敏の受字菩提料書遺の文書が伝わっている。

⑪ 14:40 山口王子跡



⑫ 14:55 伏原の墓



⑬ 15:10 熊野古ふれあい広場



⑭ 15:25 「紀伊宮原」駅



海南には駅弁が無さそうなので、和歌山まで戻り、くろしお92号で帰名。

